

目白大学大学院言語文化研究科(各専攻共通)

2019 年度 第Ⅲ期入学試験問題 小論文(60 分)

(一般入学試験)

試験時間：10 時 00 分～11 時 00 分(60 分)

注意事項

1. 問題冊子は開始の合図があるまで開かないでください。
2. この問題冊子の総頁数は、表紙を含め 6 頁です。
3. 解答用紙の所定の欄に、受験番号、氏名、フリガナを記入してください。
4. 解答はすべて「解答用紙」の所定のところに書くようにしてください。
5. 「メモ欄」は下書き等の目的に、自由に使用しても構いません。
6. 試験時間が終了するまで退室は認めません。
7. 問題冊子は、試験終了後に回収します。

目白大学大学院

2019 年 2 月 23 日(土)実施

次の問題 1 あるいは問題 2 のいずれかの問題を選択して解答しなさい。
(選択した問題の番号を解答用紙に記載すること。)

問題 1 次の文章を読み、下記の問(1)および問(2)に答えなさい。

著作権法に基づき公開しておりません。

著作権法に基づき公開しておりません。

(西村義樹・野矢茂樹『言語学の教室 — 哲学者と学ぶ認知言語学』, 中央公論新社, 2013)

問(1). 対話者の議論に従って、「客観主義の意味論」と「認知主義の意味論」の違いを 400 字以内で要約しなさい。

問(2). 本文以外の例を挙げて、客観主義の意味論と認知主義の意味論の違いを 600 字以内で説明しなさい。

問題2 次の文章を読み、下記の問(1)および問(2)に答えなさい。

著作権法に基づき公開しておりません。

著作権法に基づき公開しておりません。

(出典：與那覇潤 『知性は死なないー平成の鬱をこえて』, 文藝春秋, 2018年)

問(1). 筆者のいう「エクリチュール」とはどのようなものか、400字以内で簡潔に要約しなさい。

問(2). 『自分』の自己というものはひき裂かれ、他人にとっての自己と交錯してゆく」という「自分」のありかたについて、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

【メモ欄】